

第3次北九州市営バス事業経営計画（素案） に対する市民意見募集の結果について

1 実施期間

令和2年10月15日から令和2年11月13日まで

2 意見の提出状況

(1) 提出者数 39 人

(2) 提出意見数 142 件

(3) 提出方法

(ア) 郵 送 3 人

(イ) ファクシミリ 4 人

(ウ) 電子メール 32 人

(4) 意見の内訳

分類名	件数
1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見	30
2 計画の今後の進め方等に対する考え方を述べた意見	55
3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見	18
4 その他の意見	39

(5) 計画への反映状況

分類名	件数
計画に掲載済み	47
計画の追加・修正あり	8
計画の追加・修正なし	67
その他	20

「第3次北九州市営バス事業経営計画（素案）」に対する意見と交通局の考え方

【意見の内容】	【意見の反映】
1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見	① 計画に掲載済み
2 計画の今後の進め方等に対する考え方を述べた意見	② 計画の追加・修正あり
3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見	③ 計画の追加・修正なし
4 その他の意見	④ その他

I 経営計画（素案）全般に関する意見

No	意見の概要	件数	市の考え方	内容	反映結果
1	市民の足を守るという思いに溢れていて安心した。バスの小型化や路線の統廃合・新設等見聞きして、努力されてるということを実感している。人口構成や経済情勢など困難な状況に感染症という不安要素が加わり経営維持は困難を極めるとは思うが、応援している、頑張ってもらいたい。	8	<p>少子高齢化やマイカー普及による利用者の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、市営バス事業を取り巻く経営環境は厳しい状態が続いています。</p> <p>しかしながら、バス事業は、子どもや高齢者等の交通弱者の移動手段としてはもちろんのこと、通勤・通学、買い物や通院等、市民の生活の足としては欠かせないものです。</p> <p>この度策定します「第3次北九州市営バス事業経営計画」に基づき、市営バスは将来にわたって地方公営企業として独立採算制を維持しつつ、市民の生活の足として重要な役割を果たしていきたいと考えています。</p>	1	①
2	高齢化が進み免許返納者や一人暮らしの方が増える中、交通手段として市営バスは大変貴重であり、必要である。				
3	SDGsの17の目標との関連が分かりにくい。SDGsのマークを本計画書に張り付けると、分かりやすくなるのではないかと。	1	<p>ご意見の通り「SDGs未来都市」の選定を受けている本市においては、SDGsへの市民の関心も高いため、策定前文に次の文言及びマークを追記いたします。</p> <p>「なお、本計画はSDGs（持続可能な開発目標）の『11 住み続けられるまちづくり』への取り組みに貢献するものです」</p> 	3	②
4	市民に対しての情報提供の姿勢とわかりやすい資料作成は良い点である。	1	今後とも、市営バスの状況等について、市民の皆様に分かりやすい情報提供に努めてまいります。	1	①
5	「民営に任せても採算性やサービス水準が維持できる」ものを既得権で持ち続けるのではなく、むしろ「不採算であるが必要な交通サービス、かつ民営事業者がやれない範囲」を中心に据え直すべきではないか。市全体の交通計画で掲げ、他の事業者やモードを含め適正に再分担し、本当に市が受けられない領域がどこかに特化すべきではないかと考える。	3	<p>市営バスは、独立採算制を原則とする地方公営企業であり、不採算路線のみを運行することは、現行、困難であると考えます。</p> <p>しかし、いただいたご意見は、市全体の交通政策を検討する上で、重要な観点であると考えますので、今後、市の関係部局との連携を図る中で、参考とさせていただきます。</p>	2	③

「第3次北九州市営バス事業経営計画（素案）」に対する意見と交通局の考え方

【意見の内容】	【意見の反映】
1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見	① 計画に掲載済み
2 計画の今後の進め方等に対する考え方を述べた意見	② 計画の追加・修正あり
3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見	③ 計画の追加・修正なし
4 その他の意見	④ その他

I 経営計画（素案）全般に関する意見

No	意見の概要	件数	市の考え方	内容	反映結果
6	市営バスを早急に民間企業に売却もしくは譲渡してほしい。	5	<p>交通局では、平成28年2月に「第2次北九州市営バス事業経営計画」を策定し、様々な取り組みを実施してきました。</p> <p>令和元年度に開催した「北九州市営バス事業あり方検討会議」の意見を踏まえ、「今後の市営バスの運営方針に関する庁内協議会」において、公共交通機関の役割が増大していく中、今後の経営改善策が着実に実行されれば、中期的に収支均衡は図れると判断され、市民の暮らしを支える地域の足として、その役割をしっかりと果たしていくべきとされました。</p> <p>お客様に安全、安心、快適な交通サービスを提供するとともに、収益的収支の均衡を図るために、計画に掲げた様々な取り組みを着実に実行し、全力で市民の暮らしを支える足を守ってまいります。</p>	3	③
	件数計	18			

「第3次北九州市営バス事業経営計画（素案）」に対する意見と交通局の考え方

【意見の内容】	【意見の反映】
1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見	① 計画に掲載済み
2 計画の今後の進め方等に対する考え方を述べた意見	② 計画の追加・修正あり
3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見	③ 計画の追加・修正なし
4 その他の意見	④ その他

II 具体的な取組内容に関する意見

1 安全で安定した交通サービスの提供

No	意見の概要	件数	市の考え方	内容	反映結果
1	働きやすい勤務体制や職場環境整備による女性運転者の活躍に期待している。	2	交通局で働くすべての運転者が輝ける職場にするため、職場環境の整備に注力してまいります。	1	①
2	運転者確保のため、小型車両専属の運転者枠を設けてはどうか。	1	10人乗り小型車両の導入に合わせて、10人乗り小型車両運転者の採用を実施しています。運転者確保につなげるため、効果的な広報に努めてまいります。	2	①
3	非正規の雇用形態を改善すべきである。また、運輸職（運転者）の魅力化のための施策を掲載すべきである。	3	短時間勤務の活用やワークライフバランスの推進により、魅力的な職場となるよう引き続き努力してまいります。また、職場環境の改善や大型自動車第二種免許取得支援制度の周知等により、バス運転者の継続的な確保を図ってまいります。 雇用形態については、交通局の経営状況に直結するものであり、ただちに対応することは困難ですが、今後の制度改善等について検討する際の参考とさせていただきます。	3	③
4	運転者の待遇はとてよく、運転も丁寧で車内も清潔である。待遇向上は運転者の負担は増えるが、次につながるものである。	3	お褒めの言葉をいただきありがとうございます。これを励みに、運転者の待遇や対応をさらに向上させ、気持ちよくご利用いただけるよう努力してまいります。	1	①
5	車内アナウンスや待遇がなっておらず、運転者の対応には失望する。	1	お叱りの言葉は真摯に受け止めさせていただきます。今後も継続的に、運転者の待遇向上研修を実施し、お客様のご期待に添えるよう一層努力いたします。	4	①

「第3次北九州市営バス事業経営計画（素案）」に対する意見と交通局の考え方

【意見の内容】	【意見の反映】
1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見	① 計画に掲載済み
2 計画の今後の進め方等に対する考え方を述べた意見	② 計画の追加・修正あり
3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見	③ 計画の追加・修正なし
4 その他の意見	④ その他

1 安全で安定した交通サービスの提供

No	意見の概要	件数	市の考え方	内容	反映結果
6	中古バスの活用、低床車両のノンステップバス導入に賛成である。	3	中古バスを活用しつつ、業務量に応じた適切な車両数を確保し、計画的に更新してまいります。 なお、更新に際しては、低床車両のノンステップバスを導入し、バリアフリーの推進を図ります。	1	①
7	安全な乗降を確保するため車内合成音声を改善してほしい。	1	安全な運行を確保するための取り組みを検討する中で参考とさせていただきます。	2	③
8	事業経営が厳しいのであれば、今ある車両でやりくりすることを考えたほうが良いのではないかと。	1	車両の老朽化による修繕費が増大しており、また修繕時の部品調達も困難になっています。そのため、費用対効果を勘案し、中古バス等を活用することとしています。	2	③
9	効率的な乗合バス運行のため、新たな取り組みとして自動運転やオンデマンド交通の導入を検討してはどうか。	3	効率的な乗合バスの運行については、今後も利用状況を踏まえたダイヤ改正や回送の見直しなどにより効率化を図ってまいります。また、限られた人材を最大限活用しながら今後も効率化を図ることとしています。 いただいたご意見は、さらなる効率化を図るための参考とさせていただきます。	2	③
	件数計	18			

「第3次北九州市営バス事業経営計画（素案）」に対する意見と交通局の考え方

【意見の内容】	【意見の反映】
1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見	① 計画に掲載済み
2 計画の今後の進め方等に対する考え方を述べた意見	② 計画の追加・修正あり
3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見	③ 計画の追加・修正なし
4 その他の意見	④ その他

2 誰もが安心して快適に移動できるサービスの提供

No	意見の概要	件数	市の考え方	内容	反映結果
1	市営バスの魅力を発信するため、市営バスのサービスをもっとPRしてほしい。	2	利用者に分かりやすい案内情報を充実させるため、地域別にバス停、行先、時刻等を掲載したチラシを配布する等PR活動を積極的に進めてまいります。 また、通勤者、高校生・大学生等の通学者、高齢者等がバスを利用するにあたって、どのようなサービス、情報を必要としているかを把握し、それぞれのターゲットに的確な情報発信を行います。	2	①
2	バスを普段利用しない者からすると、バスの乗り方や運賃の支払い方、時刻表や路線など分からず、基本的なことを対象地域全員が把握するまで、周知徹底が不可欠である。また、拠点の中心となる乗り継ぎバス停がどこか分からない。 市営バス活用のPRを推進してほしい。	3	市営バスの効果的な情報発信のため、時刻等を掲載したチラシなどを地域別に配布することとしています。 いただいたご意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	2	①
3	市営バスの案内情報充実のため「運行系統一覧」「運行時刻表（冊子）」「広報誌」など発行してはどうか。 また、PRするためのブースや券売窓口を若松区以外に設けてはどうか。	4	バス運行状況をタイムリーにお知らせするため、運行中のバス位置情報や運行情報等をスマートフォンアプリ等で検索できるシステムを導入する予定です。 導入後の活用方法やモニターの設置等については、いただいたご意見を今後の参考とさせていただきます。	2	③
4	バスロケーションシステムを導入してほしい。	1	バス運行状況をタイムリーにお知らせするため、運行中のバス位置情報や運行情報等をスマートフォンアプリ等で検索できるシステムを導入する予定です。 導入にあたっては、使いやすく便利なものとなるよう、また、可能な限り低コストでの導入ができるよう努力してまいります。	1	①
5	バスロケ導入後はバス停留所やバス車内においてモニター表示してほしい。	2	全国で相互利用可能なICカードを令和3年度秋を目途に導入し、お客様の利便性向上や利用促進を図ります。	2	③
6	市営バス利用者の多数が高齢者であり、バスロケーションシステムについては、あれば便利になるだろうが、多額の投資をしてまで設置する必要はない。	1	全国で相互利用可能なICカードを令和3年度秋を目途に導入し、お客様の利便性向上や利用促進を図ります。	3	③
7	全国で相互利用可能なICカードを早期に導入してほしい。	5		1	①

「第3次北九州市営バス事業経営計画（素案）」に対する意見と交通局の考え方

【意見の内容】	【意見の反映】
1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見	① 計画に掲載済み
2 計画の今後の進め方等に対する考え方を述べた意見	② 計画の追加・修正あり
3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見	③ 計画の追加・修正なし
4 その他の意見	④ その他

2 誰もが安心して快適に移動できるサービスの提供

No	意見の概要	件数	市の考え方	内容	反映結果
8	市営バス利用者の多数が若松区内で移動していると思われ、全国で相互利用可能なICバスカードの導入は必要ない。 また、ひまわりバスカードの一部機能はICカード導入後も残してほしい。	3	全国で相互利用可能なICカードについては、これまで多くの要望をいただいております。市営バスをご利用いただいている全てのお客様の利便性向上や利用促進のため導入いたします。 いただいたご意見は、導入にあたり参考とさせていただきます。	3	③
9	モバイル乗車券の導入により便利になっている。今後のPRを充実させてほしい。	2	モバイル乗車券をPR・普及することで、市営バスの利用促進に繋がってまいります。 いただいたご意見は、今後の利用拡大に向け、参考とさせていただきます。	1	①
10	利用促進を図るため、モバイル乗車券は、他事業者と連携してほしい。また、紙のフリー乗車券を残す等の対応も検討してほしい。	3		2	③
11	休日ダイヤの減便やICバスカード回数券の割引率等の変更など市民サービスが低下する重要なことについては、市営バス利用者に十分説明をし、パブリックコメントを実施するなどして市営バス利用者の意見を十分に聞いた上で、実施の可否を判断すべきである。	3	これまでも、ダイヤ改正に係る運行本数の見直し等の説明については、自治会への説明会やリーフレット配布を通じて実施してまいりましたが、いただきましたご意見を踏まえ、お客様により丁寧に説明を行います。ご理解いただけるよう努めてまいります。	2	③
12	バス停の名称は分かりやすく統一感のあるものとし、利用者が安心して利用できるようにしてほしい。 また、他の事業者とも連携して利用環境を整備してほしい。	4	お客様にバスを快適にお待ちいただけるよう、バス停上屋やベンチ設置、幅広標識等への建替え等、バス待合環境の改善を計画的に実施することとしています。 お客様に分かりやすく、安心して市営バスをご利用いただくため、いただいたご意見は今後の取り組みの参考とさせていただきます。	2	①
13	高台地区等におけるお買い物バスの運行は良い取り組み。今後の活用期待している。 乗り心地等改善できれば、なおよいと思う。	3	大型バスが運行できない高台地区等にお住まいの方々の「生活の足」を確保するため「お買い物バス」の運行を開始いたしました。 地域の方々のご意見やご要望を踏まえ、より良い運行につながるよう検討してまいります。	1	①

「第3次北九州市営バス事業経営計画（素案）」に対する意見と交通局の考え方

【意見の内容】	【意見の反映】
1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見	① 計画に掲載済み
2 計画の今後の進め方等に対する考え方を述べた意見	② 計画の追加・修正あり
3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見	③ 計画の追加・修正なし
4 その他の意見	④ その他

2 誰もが安心して快適に移動できるサービスの提供

No	意見の概要	件数	市の考え方	内容	反映結果
14	お買い物バス運行の必要性は理解できるが、「福祉バス」の要素が強いのではないかと。独立採算制をから外し、運行すべきではないかと。	2	お買い物バスの運行に関しては、北九州市が推進する「お出かけ交通」の要素も兼ねており、運行に係る費用の一部にその助成金が充てられています。 今後の関係部局と協議を進めるにあたり、いただいたご意見は参考とさせていただきます。	2	③
15	ふれあい定期の利用開始を65歳とし、利用区間は芦屋町・水巻町を含む全線であることが望ましい。	1	ふれあい定期券は、75歳以上の北九州市民に対して全線無料としていた「敬老福祉優待乗車証制度」を見直し、導入した制度で北九州市の福祉施策としての一面があるため、ご利用可能な範囲を北九州市内区間とさせていただきます。 また、適用年齢の引き下げについては、収入に与える影響と利用者増の効果の両面から慎重に検討する必要があります。 今後、関係自治体との協議、適用年齢の調査研究にあたり、いただいたいご意見は参考とさせていただきます。	2	③
16	新型コロナウイルス感染拡大防止について、もっと前向きに頑張っている内容を盛り込んでほしい。	1	いただいたご意見を踏まえ、P14の「オ 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を一部修正いたします。	3	②
17	新型コロナウイルス感染症拡大防止について、座席利用や案内を徹底してほしい。	2	交通局では、お客様に安心してご利用していただくため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、車内消毒や車内換気の強化等を行っており、お客様に対してもマスク着用や咳エチケットの協力をお願いしています。 今後も引き続き、感染拡大防止に向けた取り組みに努めます。	2	①
	件数計	42			

「第3次北九州市営バス事業経営計画（素案）」に対する意見と交通局の考え方

【意見の内容】	【意見の反映】
1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見	① 計画に掲載済み
2 計画の今後の進め方等に対する考え方を述べた意見	② 計画の追加・修正あり
3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見	③ 計画の追加・修正なし
4 その他の意見	④ その他

3 経営基盤の強化

No	意見の概要	件数	市の考え方	内容	反映結果
1	よりよい利便性確保に向けて幹線と支線の導入に期待する。	2	経済的に非効率となっている路線を抜本的に整理することにより、お客様へのサービス水準を低下させることなく、運行の効率化や運転者確保の課題に対応していきます。	1	①
2	収支状況が厳しく、抜本的な運行システムの整理が必要であることは分かるが、「幹線」「支線」のイメージをもう少し分かりやすくしてはどうか。 また、交通局のみで行うのではなく、必要に応じて、市や民間企業との連携も必要なのではないか。	6	経済的に非効率となっている路線を抜本的に整理することにより、お客様へのサービス水準を低下させることなく、運行の効率化や運転者確保の課題に対応していきます。 いただいたご意見の「幹線」と「支線」のイメージにつきましては、素案のイメージ図に加え、新たに「運行システムの整理・統合について（概念図）」を加えさせていただきます。 また、今後の系統整理の際の参考とさせていただきます。	3	②
3	現行の回送率22%は無駄が多い。回送を実車運行に変え、利便性向上や利用者増につなげてはどうか。	4	今回系統の抜本的な見直しを行うにあたり、利便性の向上及び効率的な運行を行うため、巡回バスの導入などにより回送率の改善を図ります。 回送の実車運行のご意見については、系統整理の際の参考とさせていただきます。	2	①
4	お得な乗車券のPR推進及び他店での割引等付加価値をつけてはどうか。 また、民間事業者と同水準の乗り放題定期券のようなものを企画してはどうか。	4	乗合収入確保にあたり、お得な乗車券のPRなど、交通局独自の取り組みやその他の情報発信に注力していきたいと考えています。 また、民間事業者と同水準の定期券等については、収入に与える影響と利用者増の効果の両面から慎重に検討する必要があることから、利便性向上と乗合収入確保の双方向からの調査研究の参考とさせていただきます。	2	③

「第3次北九州市営バス事業経営計画（素案）」に対する意見と交通局の考え方

【意見の内容】	【意見の反映】
1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見	① 計画に掲載済み
2 計画の今後の進め方等に対する考え方を述べた意見	② 計画の追加・修正あり
3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見	③ 計画の追加・修正なし
4 その他の意見	④ その他

3 経営基盤の強化

No	意見の概要	件数	市の考え方	内容	反映結果
5	北九州市のバスは他市町村のバスに比べ、利便性が高いのは肌を感じている。グリーンスローモビリティによって前期高齢者の市民が移動したい高齢者を集め、バス停まで送る方法もあると思う。	1	<p>いただいたご意見につきましては、今後さらに加速することが予想されている高齢化社会への対応等を踏まえた運行体制の検討にあたり、参考とさせていただきます。</p> <p>【参考】グリーンスローモビリティ 時速20km未満で公道を走ることが可能な4人乗り以上の電動パブリックモビリティ (出典：国土交通省HP)</p>	2	③
6	貸切バス事業や受託事業を推進する中で、市内企業や観光施設と連携を図り新たな取り組みを展開してはどうか。また、路線バス車内でPRを行ってはどうか。	4	<p>貸切事業においては、企業、自治会、旅行会社等への営業活動や、魅力のあるバスツアーの企画により受注拡大に努めてまいります。</p> <p>また、受託事業におきましても、従業員送迎バス等、お客様のニーズに沿った事業を展開することにより、収入の確保に努めてまいりたいと考えています。</p> <p>いただいたご意見は今後の販路拡大、新規企画提案等の参考とさせていただきます。</p>	2	③
7	貸切バス事業をやめて、その人件費や整備費等を浮かせ、その分を市営バス利用者に還元するべきである。	1	<p>貸切バス事業の利益により、乗合バス事業の赤字を補填しており、不採算路線の維持を行っています。</p> <p>そのため、市民の生活の足を確保するためには、貸切事業の継続は必要であると考えています。</p>	2	③
8	広告収入増収のため、市とのタイアップやバス車内での音声案内を利用してはどうか。	2	<p>広告収入増収のため、引き続き企業等への営業活動を強化し、広告料収入の確保に努めます。</p> <p>いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>	2	③
9	増収のための新たな取り組みとして、貨客混載実施検討や会員制の交通局ファンクラブを作ってはどうか。	2	<p>附帯事業の新たな増収方法については、今後も調査研究していく必要があると考えています。</p> <p>いただいた貨客混載やファンクラブについては、増収に向けた調査研究にあたり参考とさせていただきます。</p>	2	③
	件数計	26			

「第3次北九州市営バス事業経営計画（素案）」に対する意見と交通局の考え方

【意見の内容】	【意見の反映】
1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見	① 計画に掲載済み
2 計画の今後の進め方等に対する考え方を述べた意見	② 計画の追加・修正あり
3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見	③ 計画の追加・修正なし
4 その他の意見	④ その他

Ⅲ その他

No	意見の概要	件数	市の考え方	内容	反映結果
1	民間事業者と比較して、通常運賃や企画乗車券の料金設定が高く、また運行本数が少ないため利便性が低い。	4	市営バスの料金設定について、一部を除きおおむね民間事業者と同水準で設定いたしております。 また、運行本数につきましては、利便性向上と乗合収入確保の双方向からの調査研究の参考とさせていただきます。	4	③
2	バス車内音声の充実化等を図り、分かりやすい内容にしてほしい。	4	お客様の利便性向上に向けた検討の参考とさせていただきます。	4	③
3	市や民間企業が行うイベントとタイアップしている臨時バスの集客に力を入れて欲しい。 また、若松区の魅力ある施設や名所の回遊バスを企画してはどうか。	4	市や民間企業が主催するイベントでの臨時バスの運行を受託した際は、主催者と協議の上、どのような案内や広報を行うか調整いたしております。いただいたご意見を参考にイベント等を受託した際には、主催者の意向を踏まえながら調整いたします。 また、回遊バスについては、利用者拡大に向けた調査研究の参考とさせていただきます。	4	③
4	バス車内に運転者の所属及び名前等を掲示してほしい。	1	車内には車両番号と運転者氏名を掲示しています。その他ご提案いただきました内容は運用を検討する上での参考とさせていただきます。	4	④
5	「北九州市交通局基本理念」と「北九州市交通局行動方針」を営業所、案内所及びバス車内に掲示してはどうか。	1	若松と向田の両営業所にはすでに掲示しておりますが、基本理念を含めた交通局のPRを検討する際に参考とさせていただきます。	4	④

「第3次北九州市営バス事業経営計画（素案）」に対する意見と交通局の考え方

【意見の内容】	【意見の反映】
1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見	① 計画に掲載済み
2 計画の今後の進め方等に対する考え方を述べた意見	② 計画の追加・修正あり
3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見	③ 計画の追加・修正なし
4 その他の意見	④ その他

Ⅲ その他

No	意見の概要	件数	市の考え方	内容	反映結果
6	市営バスは、芦屋タウンバスを含め芦屋町から撤退してほしい。北九州市民と割引制度に差がある。	1	<p>芦屋タウンバスは、民間事業者が芦屋町内のバス路線を廃止したことに伴って運行が開始され、その運行を市営バスが受託しました。その結果として、芦屋町の交通機関の大部分を市営バスが担う状況となっています。</p> <p>福祉優待乗車証やふれあい定期は、北九州市の福祉施策としての一面もあるため、利用可能範囲を北九州市内区間とさせていただいております。</p> <p>また、芦屋町等の関係自治体との連携については重要であると考えており、今後とも同町と十分協議を諮ってまいります。</p>	4	④
7	<p>ダイヤ改正が頻繁に行われており、通勤や通学等への影響が出ている。改正の内容も減便が主なものであり、これ以上の減便は困る。</p> <p>また、一部利用が多い路線について増便してほしい。</p>	23	<p>市営バスでは、令和2年3月に、利用者の少ない路線や時間帯への10人乗り小型車両の導入、また休日便の特に乗車率の低い時間帯について、利用実績に応じた減便を行いました。</p> <p>さらに、少子高齢化の進展等に伴うバス利用者減少に対応するため、同年秋に予定していた平日ダイヤ改正を、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者の大幅な減少が続いていたことから、同年5月に前倒しで実施させていただきました。</p> <p>減便によりご迷惑ご不便をお掛けしましたこと深くお詫び申し上げます。</p> <p>市営バスでは、令和3年3月から抜本的な運行系統の整理として、現行の路線網を「幹線」と「支線（フィーダー）」に分け、巡回バス路線を新設し、お客様へのサービス水準を低下させることなく、運行の効率化を図ることとしております。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、検討に際し、参考とさせていただきます。</p>	4	③
	件数計	38			